

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

福島県南相馬市 南相馬市立総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能	指定病院の状況
直営	16	-	ド透1未訓	救 臨 災 輪
人口(人)	建物面積(m <sup>2</sup> )	不採算地区病院	看護配置	
60,585	21,321	非該当	10:1	

1 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療

2 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
230	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	230
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
230	-	230

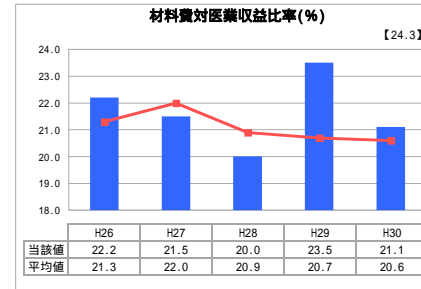
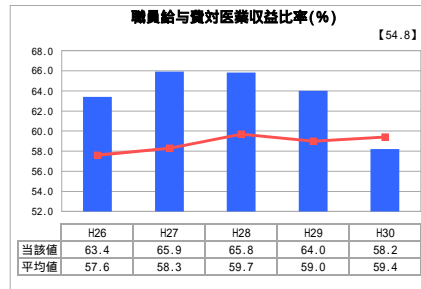
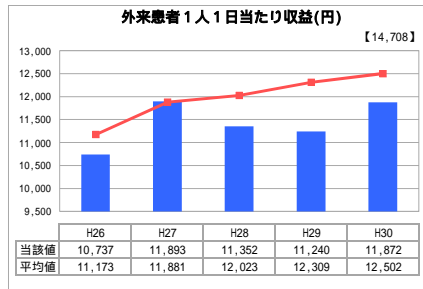
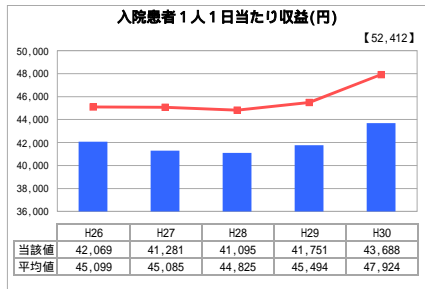
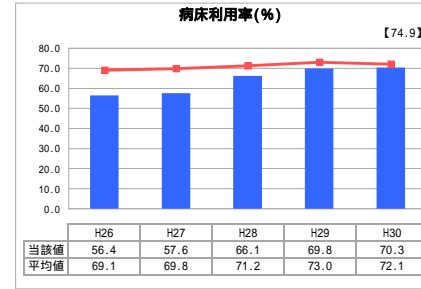
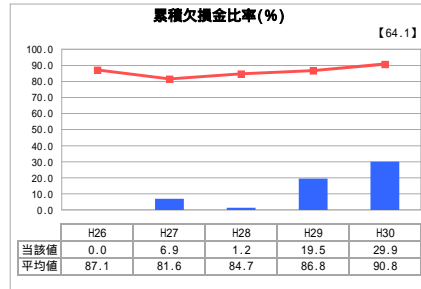
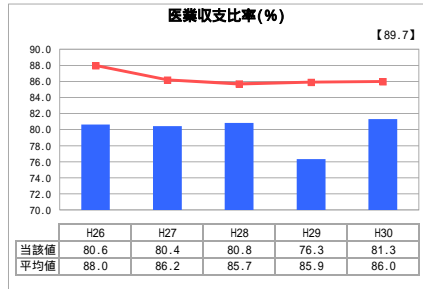
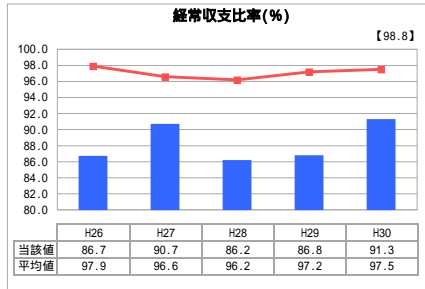
**グラフ凡例**

当該病院値(当該値)

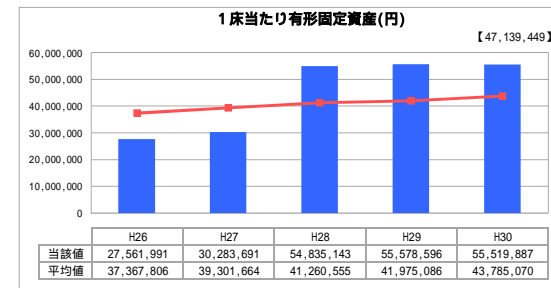
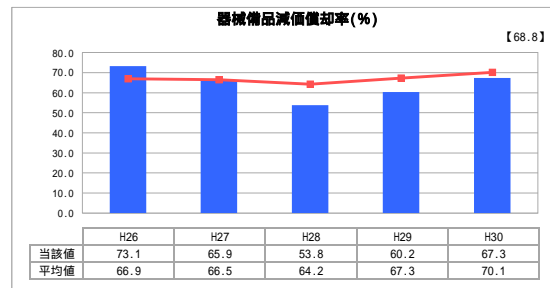
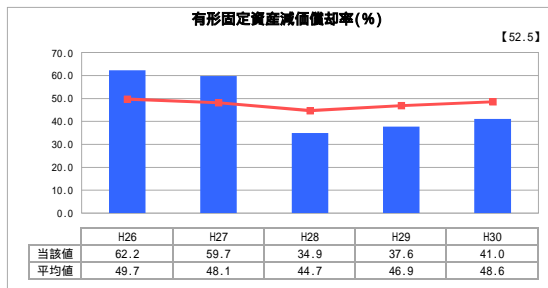
- 類似病院平均値(平均値)

【】平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

## 地域において担っている役割

当院は、地域災害拠点病院及び原子力災害拠点病院として指定を受け、相双医療圏の中核病院として二次救急医療を担っている。  
また、地域内の医療機関で受け入れができない透析患者への対応のため、平成30年3月から透析医療の提供を開始している。

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率、医療収支比率とも対前年度比で5ポイント程度改善したが、類似病院平均を下回る状況が続いており、引き続き、経営健全化に向けた各種取組みを進めていく必要がある。  
平成23年度以降、原子力災害による住民避難や稼働病床数の制限等が影響し、病床利用率は大きく低下したが、その後は徐々に改善し平成30年度には70%まで回復した。  
職員給与費対医療収益比率は、医師数の減少等が影響し、対前年度比で5.8ポイント改善し58.2%となり、類似病院平均を下回った。

### 2. 老朽化の状況について

平成28年度の脳卒中センター建設に伴い、有形固定資産減価償却率は低下し、また、1床当たりの有形固定資産は増加した。  
当院本館も築25年以上経過し老朽化が進んでおり、近年大規模改修工事を行う予定であることから、今後、1床当たりの有形固定資産はさらに増加する見込みである。

## 全体総括

脳卒中センター建設に伴い、設備と人員に投資を行ってきており、特に初期研修医と看護士については将来確実に不足すると考えられる地域医療資源で、積極的な採用活動と定着に向けた取組みを行ってきた。今後は先行投資された資源を有効に活用し市民に還元する活動に注力する。  
また、平成30年度に病床再編計画を策定し、今後230床から300床へ増床する見込みであることから、本館の老朽化対策も含め、計画的に設備投資を行っていく必要がある。

「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。